

あらたな想いをカタチに...

100th
Kurataakai

とにもあゆむ



新年賀

静岡県富士市
東名高速富士川SAより

No. 42 冬号

＝もくじ＝

- お正月の由来（豆知識）
- 笑顔をつなぐ広場
「我が家の『いいね』自慢」
- 食中毒は夏だけではありません！
ノロウイルスにご注意



医療法人財団 倉田会

倉田会の理念「とにもあゆむ」

◎患者様とともに
患者様とともにトータルケアを目標として歩みます。

◎地域とともに
地域とともに保健事業（予防）・医業・介護福祉事業を展開し地域の健康維持と健康増進を目標として歩みます。

◎関係者とともに
関係機関への情報提供やセカンドオピニオンなど患者様への利益につながるよう努力して歩みます。

◎職員とともに
最良の医療・最良の介護を念頭に患者様、「利用者様の利益につながるよう検討し最良のチームを目指し歩みます。

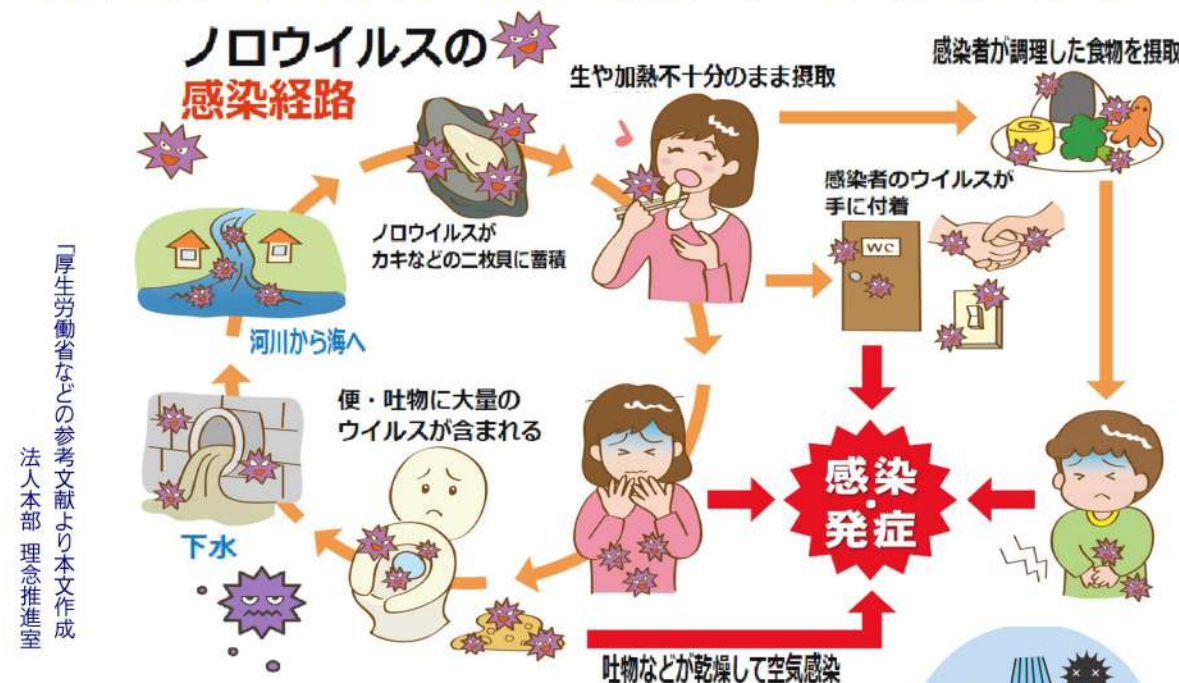


食中毒は夏だけではありません

ノロウイルスに要注意!!

(感染性胃腸炎)

今冬のコロナウイルス感染、インフルエンザA・B型同時流行の懸念と共にノロウイルスによる食中毒にご注意ください。



ノロウイルスは、少量でも手や指、食品などを介して口から入り、体内で増殖し、腹痛や嘔吐、下痢などの症状を引き起こします。

●予防のためのポイントは…

「付けない」「やっつける」「増やさない」ことです。

日頃から丁寧な手洗い、手指消毒、うがいを細目に行い「持ち込まない」ことが大切です。

●コロナ感染、インフルエンザ、ノロウイルスなど感染流行から自身を守るためにもマスク着用が効果的です。

●医療機関、高齢者施設訪問や電車・バスの通勤ラッシュなどの混雑時には、マスク着用しましょう。



【制作・発行元】

2024年（令和6年）1月1日発行（No.42//冬号）

医療法人財団倉田会 理念推進室

～プロジェクトチーム とにもあゆむ～

〒254-0018

神奈川県平塚市東真土4-5-26

TEL0463-53-1955 FAX0463-53-1957

<http://www.kurataakai.or.jp>

【編集後記】あけましておめでとうございます。

夢か現か…夢には睡眠時に見る夢、将来に実現させたい夢の解釈があります。夢を叶えるには、将来に向けて夢を想い描くことが、第一歩です。「夢なき者に理想なし 理想なき者に計画なし 計画なき者に実行なし 実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし」教育者であり幕末・明治維新の陰の立役者、吉田松陰の名言です。考動なき者には、何ももたらされないと云うことです。故に考動なき者に失敗もなし。小さな夢、大きな夢の実現に失敗を恐れていては、成功もない。失敗も立派な経験で、新たな知恵が生まれます。夢の扉を開くのは、誰もいない自分自身です。皆さまの良き初夢・抱負が叶いますよう心よりお祈り申し上げます。



長谷川家「アム」の楽しいお正月

笑顔をつなぐ広場
「我が家の
我慢」

いいね。
我慢

◎長谷川家の大事な家族
「アム」トイプードル 6歳
いつも家族の誰かにくっついて
甘えん坊です。

帰宅すると必ず玄関で出迎えてくれます。
子供にいたずらされたりしますが、我慢
して付き合ってくれます。…たまに我慢
の限界に達し反抗しています(笑)

子供とアムが仲良く
している姿は、
ほのぼのとしていて、
家族を和ませてくれて
います。

《提供者：平塚市在住長谷川 早紀子さん》

ご応募された方に、もれなくご我慢カレンダーにして差上げます
応募先…医療法人財団倉田会 法人本部 理念推進室 「我が家の我慢」宛
〒254-0018 平塚市東真土4-5-26
TEL 0463 (53) 1955 (内線530) E-mail h-omori@kurataakai.or.jp

お正月の由来 (豆知識)

お正月は日本の行事では、最も古く六世紀半ばには存在していたとのこと。お正月は旧暦一月の別称であり、本来のお正月は一月一日から三十一日までを指す言葉でした。現在では、一月一日から二日までを三が日、一月七日までを松の内と呼び、新年を迎える前に門松やしめ縄、鏡餅などを飾ります。

●元日と元日の違い
では元日、元日は一月一日を表す言葉ですが、正確には、元日は一月一日の朝、午前を指す言葉で、午後は元日とは云いません。一方で元日は一月一日の全日を指す言葉です。

一般的に一月一日に届くように投函した年賀状は、午前中に届けられるので、元日と書き記します。一月二日以降は、令和〇〇年初春などとする方が良いでしょう。もっとも時代の変化とともに元日も元日も同様に扱われており、失礼にはならなくなったようです。

●そもそもお正月とは
本来は、お盆と同じく先祖をお祀りする行事でしたが、時代とともに一年の始めに人々の健康や子孫繁栄と五穀豊穡を司る「歳神様」をお迎えして、昨年の無事と豊作に感謝し、新しい年の家内安全と豊作を祈る行事でした。

◎お正月飾り
◎門松は、歳神様が家を見つけやすいように目印として門や玄関前に飾ります。
◎しめ縄は、神様を祀るのにふさわしい場所であることを示し、結界を張り厄除けをするために飾ります。
一般の家庭では、縁起物の橙・扇・松竹梅・鶴亀・水引・裏白などを飾りつけたしめ縄が多いようです。
◎鏡餅は、神さまへのお供え物として、神様が宿るものとされています。なぜ餅に「鏡」なのか…由来は弥生時代に遡り、鏡は丸い形の

銅鏡で、陽の光を反射し太陽のよう輝くことから神様が宿るとされてきました。

その鏡を模して作られたのが、鏡餅と云われています。大小の餅を重ねて二段に重ねることで、陰と陽で月と太陽を表していると云われています。

幸福と福徳が重なり縁起がよい、円満に歳を重ねるとされています。一番上のにせる橙は、代々、家が繁栄するようにと云う願いが込められています。

※橙は一つの木に一年目、二年目、三年目の果実が一緒に実ることから代々「橙」と呼ばれるようになったとの説です。

●お正月と云えばお年玉
お子様たちが、心待ちにしていると云えば、お年玉です。今では、ポチ袋、お年玉袋に現金を入れたものを貰うのが主流ですが、昔はお供えしていた鏡餅を一月十一日の鏡開きにお雑煮やおしるこにして食すことで、運氣や一年の健康と豊作にあやかるとされて、歳神様の代理人とされる家長が家族に分け与えていた餅を「歳魂(としだま)」と呼んでいたのが、お年玉の由来だそうです。

※昔の人は、毎年お正月にお年玉(歳魂)を貰うことで、皆が等しく一つずつ年齢を重ねていました。生れた時を一歳と数え、お正月で二歳を重ねるとされてきました。これが「数え年」です。母親のお腹で魂を宿した時点で命が生まれ、既に一歳ということ。小学校などに入学した時点で0年生とは云わず一年生と考えればなるほど納得がいきます。

お正月に関わるものとして、初詣、お屠蘇、おせち料理、お雑煮、七草がゆなどの行事や食文化は、まだまだ沢山あります。そして、お正月にふさわしい言葉に「二年の計は元日にあり」があります。皆様にとって良きスタート、無病息災、幸多き年になりますように…。

法人本部 理念推進室